

## 【協力会社紹介】株式会社羽沢建設

## ○2021年度安全性向上の取組み ～安全大会～

安全性向上の取組みの一環である「安全大会」について、2021年9月、全社員参加のもとで開催されました。今年もコロナ禍での開催でしたが、手の消毒、マスクの着用、換気など感染予防に努めながらの大会となりました。また、お忙しい中、遠方よりお越しくださいました来賓の方々に厚く御礼申し上げます。

午前中(会議室)は、弊社で2年連続発生させてしまった労働災害を振り返り、現場ではもっと「掛け声」、「受け声」を発するようにしよう、という再発防止策を改めて確認しました。また、仙建工業全体を見ると、今年度は保安体制・保守用車に係る事故、事象も多く発生していることから、事故情報の共有、鉄道工事の「1+3」の確実な実践を徹底することを改めて確認しました。これからも類似事故防止に取り組んで参ります。



## ○実設訓練

訓練線では3班編成とし、「LED体制」「線閉作業」、また、三厩線では「軌工管が線閉責任者を兼務」することから、補助者である軌作員とのWチェック、軌工管の指示による線路立入り指差確認、経験5年未満の若手社員を対象とした「レール切断」「穴明け(普通穴、ヒール穴、ガード穴)」について実施しました。様々な機械の取扱い方法の確認や、印付け誤り防止のためのWチェック方法など、実践を通して社員の育成に取り組まれました。



また、軌工管、線閉責任者、補助者での「締結装置よし!」「仕上りよし!」「跡確認よし!」「建築限界よし!」という線路退出時のケジメを再確認し、訓練を終了しています。



## 《トピックス》

## ○軌陸BHの効率化作業・コストダウンに向けて

2021年11月、軌陸BH「G4」の取扱いについて、リースメーカーであるアクティオから指導を受け、夜間、津軽線蟹田～中小国間(単)で弾性PCマクラギ交換を施工しました。作業自体は、線閉

間合107分～167分の1間合い施工で、計10日間施工しましたが、交換本数の合計は66本で、計画交換数量には達することができませんでした。軌陸BHオペはG4操作では道床掘削に一苦労したようです。しかし、大きなトラブル等もなく、無事に施工を終えることができました。今回の作業実績(機械の操作、作業方法、線閉間合など)を検証しながら、PCマクラギ交換作業の効率化に向け、今後も仙建工業の皆さんと共に取り組んでいきたいと考えています。



## 《職場のホープ紹介》

## ○宇野 啓太(うの けいた)22歳

今年度、特殊運転者(MC)の資格を取得し、この冬、三厩線雪口運転でオペレーターデビューしました。今後、保守用車及び軌道工事の知識をさらに深め、優秀な軌道



工を目指してもらいたいと思います。夢の実現のため、まずはパートナーを見つけ、あせらず、じっくりと頑張ってください。

《鉄道経験》 3年

《趣味》 ドライブ

《特技》 料理

《夢》 家を建てること

《抱負》 怪我をしないよう頑張ります

## ○飯田 太陽(いいだ たいよう)20歳

初めての軌道工の仕事で、聞き慣れない用語、初めて使用する器具に大変苦労したようです。職場一番の若手社員として皆から「たいよう! たいよう!」と親しまれながら、一生懸命に仕事を頑張っています。夢の実現のためにも、これから各種資格取得にチャレンジして、優秀な軌道工を目指してもらいたいと思います。



《鉄道経験》 9カ月

《趣味》 サウナ

《特技》 サッカー

《夢》 家を買う

《抱負》 早く一人前になれるように頑張ります!